

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	奈良県	事業実施主体	奈良県、川上村	地域再生計画名	都市にはない豊かな暮らしづくり計画
計画期間	令和3年度～令和7年度	評価責任者	奈良県環境森林部長、川上村林業建設課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標総数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	法面対策必要箇所数	3箇所	R2	2箇所	R5	3箇所	R7	0箇所	×	5	2	令和4年度に計画を変更し、開設工事を優先し、法面対策工事の施工を遅らせたため、中間目標値は満たしていないが、令和6年度より法面対策工事に着手することから、最終目標値は達成できる見込みである。
	指標2	森林施業地への所要時間	30分	R2	10分	R5	20分	R7	10分	×	5	2	当初、開設工事の計画がR3～R5であったが、開設単価の高騰により進捗が遅れている。令和5年度に計画を変更し令和7年度までの計画に変更したため、最終年度には目標値を達成できる見込みである。
	目標1	林業労働者の維持	41人	R2	41人	R5	41人	R7	41人	○			中間目標を達成している。
	目標2	森林整備面積の増加	210ha	R2	216ha	R5	162ha	R7	221ha	△			ヘリコプターの値上がりにより、間伐面積が減少しており目標値を下回っているが、補助制度や支援体制の強化により達成に努めたい。
	目標3	木材搬出量の増加	1,093m ³	R2	1,120m ³	R5	1,343m ³	R7	1,147m ³	○			中間目標を上回っている。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（R5）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		125m	73m	125m	路線の整備延長の増減はあるが、全体計画量は概ね計画通り完了する見込みである。							
	林道整備事業（整備延長）		1,800m	849m	1,800m	路線の整備延長の増減はあるが、全体計画量は概ね計画通り完了する見込みである。							
その他の事業	林業労働者退職金共済制度推進制度補助金（奈良県支援事業）		林業労働者の退職金に関する補助			林業労働者の退職金の改善を推進し、福祉の向上、林業労働者の確保安定を図る。							
	美しい森林づくり基盤整備交付金（林野庁支援事業）		間伐等に対する補助			森林の多面的機能の維持増進及び木材生産を目的として造林や間伐事業の補助を実施している。							
	吉野かわかみ社中事業（川上村単独事業）		新規就労者対策や運材助成等の基盤整備の支援を行う			森林施業の集約化と林内路網の整備、林業機械の導入等の一体的な実施による、出材の安定化とコスト削減の取組を進めている。							
	奈良県と川上村との郷づくりに関する包括協定（奈良県支援事業）		川上村内における持続的発展や活性化への支援			奈良県と川上村とが郷（まち）づくりに関する包括協定を締結し、川上村内における持続的発展や活性化への支援を受けている。							
計画外で独自に実施した事業													
③評価方法	地域再生計画に記載した数値目標に関係する関係団体代表により、中間目標値の実施状況に関する評価・検討を行った。												
④中間評価の公表方法	川上村ホームページで公表												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した村道と林道の整備を一体的に実施し、森林施業の基盤整備を図っている。近年、ヘリコプター料金の値上がりにより森林整備面積は減少しているが、林道や作業道を開設することにより木材搬出量は増加しているため、さらなる支援や協力体制が必要となる。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・ 無 ） 令和6年度予算要望額への反映（有・ 無 ） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する対応	本地域再生計画については、事業が円滑に進んでおり、引き続き計画に則した整備を実施することにより、林業労働者の増加や森林整備面積の増加につながるものと考えている。そのため、効果発現に向けて引き続き事業進捗を図り、目標の達成に努めたい。												